

～神奈川県内に本店を置く金融機関で初めて認定マークを取得～

人事部人事課 課長補佐 粕田昌志さん
同 係長 二本木留里子さん

「相互扶助」の精神を理念とする地域密着型金融機関の湘南信用金庫。人事制度は従来から男女平等であり、育児休業者に対して、手厚いサポートをするなど、従業員が能力を十分に発揮できるような取組みを行っている。

湘南信用金庫にとっての ワーク・ライフ・バランス

——ワーク・ライフ・バランスについてどのようなお考えを持っていらっしゃいますか。

粕田 仕事一辺倒ではなく、PTAへの参加や地域貢献活動などプライベートでもいろいろなことで見識を深めてくれると、仕事の方にもフィードバックがあると思っています。人としてのあらゆる面での成長が、豊かな人間性を育むものと考えています。

二本木 仕事以外の経験が業務の効率化にもつながる場合があるのではないかと考えています。私は育児を経験しましたが、子どもはいつ体調を崩して発熱するかわかりません。ですから、その日のうちにできることは、次の日に持ち越さないで、その日のうちにやるようにしました。しかし、保育園の迎えなどがありましたので、残業をするわけにはいきません。その日のうちにどうしてもできない仕

事については、次の日に突発的に休んでも、他の人が適切に対応できるような状態にしておきました。こういった工夫は、業務の効率化につながります。その結果、重要な仕事により多くの時間を費やすことができるようになりました。

安心して育児休業を 取得できる体制

——安心して育児休業を取得できるようにするためにどのような取組みを行っていますか。

二本木 育児休業復帰プログラムというものを設けています。このプログラムは、復帰後、スムーズに職場に適應できるようにするための措置として設けているものです。

プログラムの一環で、育児休業者全員に対して取り組んでいる事例としては、定期的な電話を通してのコミュニケーションと社内報の送付による職場や業務に関するインフォメーションがあります。また、育児休業中の人は、月に一回、人事部にあてて育児休業報告書を提出することになっています。この報告書は、お子さんの様子について差しさわりのない程度に書く欄、復帰に関して不安に思っていることや知りたいことを書く欄、復帰に向けて何か変更事項などがある場合に書く欄が設けられており、育児休業に入る

前に渡しておきます。その報告書が人事部に送られてくると、その内容について私が電話を通して育児休業者と話をします。報告書に何も書かないで送ってくる人についても、電話を通して近況を教えてもらっています。この電話を通してのコミュニケーションや社内報の送付によって、育児休業者に休業中も当金庫の職員であるという意識を持ってもらえればと思っています。

——他にはどのような取組みを行っていますか。

二本木 その他にも、希望者は、全国信用金庫協会等が行っている通信講座を受講することができます。また、復帰予定の職場見学も実施しています。特に、各支店で業務に使用する端末機械等の入れ替えをしたときには、育児休業者は自分の今までのスキルが通用しないのではないかと不安になることが多いので、希望により職場復帰前に本部の研修センター、または各支店で端末操作練習を行えるようにしています。

育児休業から復帰する時期を決めるのは大変です。現在の制度では、1回のみ期間の変更が出来ますので、育児休業の取得の際には、あらかじめ育児休業期間を長めに申請してもらい、保育園等に安心して預けられる状態になったときに期間を短縮

することをお勧めしています。

子どもの面倒をみていると、この時期なら復帰できる、というような明確な時期はありませんので、安心して子どもを預ける場所を見つけることができたときに復帰を考えることにするなど、どこかで区切りをつけることが必要です。ですから、休業から復帰するタイミングについて、私も育児休業経験者として相談にのっています。

粕田 当金庫では、従来から、昇格や昇進について性別による区別は一切していません。いわゆる一般職というものはなく、男性も女性も同じ総合職で入庫します。実際、女性の正職員のうち、約25%が係長以上の役職に就いています。ですから、育児休業制度などを安心して利用してもらい、女性も自分の能力を十分に発揮できるような環境を整えたいと考えています。

男性も育児休業を取得

——男性社員も育児休業を取得したそうですね。

二本木 はい。30歳代半ばの男性が育児休業を取得しました。その方は奥さんも当金庫で働いておられます。休業を取得したのは、第2子のご出産のときでした。奥さんをご出産後、少し実家に滞在していたのですが、自宅に帰ってから、ご主人が育児休業を取得しました。

——男性の育児休業取得を促すために何か取組みをしていますか。

二本木 女性の場合は、妊娠した場合、マタニティの制服を申請します。それをきっかけとして、育児休業取得などについて私などが相談にのることができ

夫婦ともに、当金庫で働いている場合は、今回のケースのように、男性にも子どもが生まれる前に育児休業をお勧めすることが可能です。しかし、そうではない場合は、子どもが生まれた時点で家族構成の変更についての申請が提出されるまで、育児休業をお勧めする機会がなく、その時点でお勧めしても、育児休業取得にはなかなか結びつきません。これについては今後の課題となっています。

男性が育児休業を取りにくいのは、お母さんしか母乳が出ないという問題もあります。離乳食になったときでもいいので、男性にも積極的に子育てに参加して欲しいと思っています。

粕田 2006年の4月から隔月で当金庫内のイントラネットで「お父さんも育児休業をとれます」というタイトルで、男性の育児休業の取得事例や、次世代認定マークの取得について周知しています。その結果、他の男性職員から、将来子どもが産まれたら自分も育児休業を取得し積極的に育児に携わりたいという声もあがっています。

学校行事にも利用可能な特別休暇

——学校行事などに利用可能な特別休暇制度を導入されたそうですね。

二本木 はい。幼稚園や学校では、母親が入学式などに出席しなければならないという雰囲気があります。せっかく子どもを授かったのですから、父親にも子どものことにもいろいろと参加してもらいたいという思いから、この制度を導入しました。もちろん、母親にも、運動会や保護者会、授業参観などに

これまで以上に積極的に参加したり、PTAの役員なども引き受けて、子どもに係わり合いを持って欲しいと思っています。**粕田** 卒業式や入学式などの学校行事は年度末や年度初めにありますが、その時期は業務繁忙期と重なり、なかなか休暇の申請は出しづらいのが実情です。特別休暇として制度化することで、積極的に休みを取って育児に携わって欲しいという当金庫としてのスタンスを示し、休暇を取得しやすい雰囲気をつくりました。

今後の課題

——今後の取組みについてはどのようにお考えですか。

粕田 現在は、子育てとの両立に重きが置かれていますが、今後は子育て以外の個人的な生活とのバランスもとれるような取組みを推進していきたいと考えています。

会社概要



名称	湘南信用金庫
所在地	神奈川県横須賀市大滝町2-2
事業内容	信用金庫法に基づく金融業務(預金、融資、内国・外国為替、投資信託・国債・損保・生保販売、その他付随業務)
設立	1924年(1989年「横須賀信用金庫」と「鎌倉信用金庫」が合併し現商号に変更)
出資金	169億3500万円
従業員数	869名 (うち女性 248名)